



「がん研究の今を学んで未来を変えよう」と2月3日に富山大学黒田講堂にて文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「がん特定」青少年・市民公開講座が開催されました。文部科学省研究振興局学術研究助成課の石田雄三課長補佐からの挨拶、本公開講座の実施委員会委員長で京都大学大学院の石川冬木教授から開催の挨拶があった後、京都大学大学院長田重一教授、東京医科歯科大学大学院神奈木真理教授、財団法人癌研究会・癌研究所野田哲生所長、本大学附属病院がん治療部の菓子井達彦部長の4人の講演が行われ、参加者の多くが「がん」に対し、より興味や関心を高めました。

最後に、本公開講座富山大会の実行責任者を努めた富山県薬事研究所所長で、富山大学大学院医学薬学研究部高津聖志客員教授の挨拶により閉会しました。

高校生240名を含む約420名の参加者を前に、4名の県内高校生が、開会から閉会までの司会進行を分担し、会場を盛り上げてくれました。

